

「見方・考え方」を働かせる授業づくりの工夫 ～中学校外国語科～

第1学年単元名 自分らしさが伝わるような自己紹介の手紙を書こう(第7/8時)

《本時の目標(育成を目指す資質・能力)》

日常的な話題について、事実や自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く。(思考力、判断力、表現力等)

こんな授業になっていませんか？

言語活動

既習の言語材料である、I like …./ I play …./ I have ….があれば多くの生徒は書くことができるぞ。

今日は、友達に自己紹介文を書きましょう。
like / play / have を使って書きましょう。
例文を参考に書いてみてください。下線部を自分のことに置き換えれば完成しますよ。



(例文)

Hello. I'm Ken. I like baseball.
I play it every day. It is fun.
Do you like it?
I have a dog. It is Hana. It is cute.

【生徒の反応】

この例文を参考に書けばいいのね。簡単に書けそうだわ。



Aki

まとまりのある英文を書かせる際、教師が例示することで、生徒は書きやすくなるかもしれませんが、しかし、生徒が「本当に伝えたいこと」を考える時間や、既習表現を用いて表現しようとする時間を減らしてしまいます。また、例文があることで、型にはまった自己紹介が増えると予想されます。

「見方・考え方」を働かせる意識をプラス！

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」とは

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

生徒が「見方・考え方」を働かせるためには

目的や場面、状況を意識して、「必然性」のある言語活動を設定しましょう。

外国語科では、コミュニケーションを図る資質・能力を、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことと言語活動を通して育成することが重要です。

言語活動とは、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」のことです。教師は言語活動を設定する際に、「必然性」を意識することが大切です。書くことの活動ならば、「だれ」に書くのか(相手意識)、「なぜ、何を、どのように」書くのか(目的意識)を明確にすることで、生徒の書くことに対する意欲が高まり、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることができます。

また、書きたいと思っても書けない言葉や表現を、既習表現で考えさせたり、友達と共有する時間を設定したりすることで、生徒が自分の考えを深められるような学習活動を構想することも大切です。

授業を こう変える！

- ・誰に何のために書くのかという目的を明確にすることで、生徒の中の相手意識が高まり、相手が知りたい情報や自分が伝えたいことが書けるようにする。…^①
- ・まとまりのある文章を書かせる前に、書く内容をマッピングで可視化して書く順番や内容を整理する時間を複数回設けることで、生徒が本当に書きたいことが明確になるようにする。…^②
- ・友達や教師からアドバイスをもらう場面を設定することで、生徒が相手を意識したよりよい内容に再構築できるようにする。…^③

このような授業にしていきましょう！

【目的や場面、状況の設定】…1

新しいALTのジェフ先生から、生徒宛に自己紹介の手紙を書いてもらおう。「生徒のことも知りたいから返信してほしい」という内容も加えてもらおう。

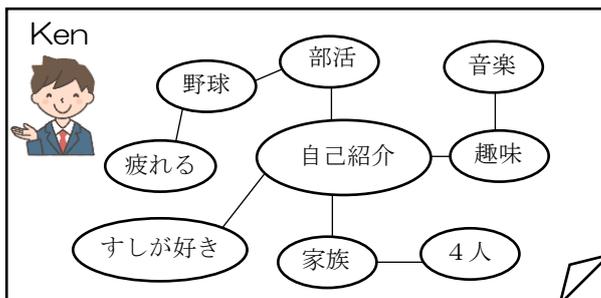


Hello. I'm Jeff. I'm your new ALT from Canada. I like sports very much. Especially, baseball. It is exciting. Do you like it?
～中略～



【書く順番や内容を整理する時間の確保】…2

ALTへの自己紹介文を書く前に、マッピングを使って書く内容を整理する時間を設け、いろいろな表現を考えさせよう。



〈生徒の姿〉
マッピングによって本当に書きたいことを可視化することで、誰に何を書きたいのかが明確になっていきます。

【内容を再構築する場面の設定】…3



Let's read your self-introduction in pairs. After that, listeners give some comments about two points.

- 1 良かった点
- 2 気になった点 (英語表現を含む) 等

ペアで自己紹介文を読み合った後



習った表現が多かったから、よく分かりました。ジェフ先生は、野球が好きかを聞いていたから、けんさんの野球部について詳しく教えてあげると喜ぶと思います。

なるほど。野球部についての内容をもう少し増やしてみるよ。他にもカナダにはどんなチームがあるか聞いてみよう。それから、ジェフ先生が野球をやっているかも聞いてみよう。



表現で気になったところは、“Baseball is tired.”と書かれたところです。“The practice is hard.”の方がよいと思います。

〈生徒の姿〉
ALTが野球好きであることを知った上で、伝えたい情報を整理しています。そうすることで、一方的な紹介文ではなく、相手を意識した深まりのある紹介文になります。



When you can't find English phrases that you want to write, ask your friends or use your dictionary please. Of course I'll help you too.

- 表現の書き換えについては…
- 既習表現で考える。
 - 辞書を活用する。 等

カナダにはどんな野球チームがあるかを尋ねる表現は、
What professional baseball teams are in Canada? でいいんだ。



ほかの学習場面で「見方・考え方」を働かせている例

ALTからの返事を読む場面（第8時）で



Thank you for your letter.
We have Toronto Blue Jays in Canada.
What baseball teams in Japan do you like?

ぼくの好きな日本の野球チームについて教えてあげたいな。



〈生徒の姿〉
互いの気持ちを伝え合う言語活動を通して、もっと相手の国や文化を意識したやり取りをしたいと思うようになります。